



#おうちで職場体験



かへい

貨幣博物館のおしごと

Currency Museum, Bank of Japan 2020.7

No.1 博物館ってどんなところ？

「博物館で働いてます」というと「展示室で座っている人？」と聞かれるのは、「博物館業界あるある」です。展示室で皆さんが安心して過ごせるよう、また展示資料が安全であるように、展示室で見守る監視や警備も博物館の大事な仕事の一つです。ただ「博物館の仕事」は、展示を見に来た皆さんの目に見えないところ、つまり「ウラ<裏>」での仕事がかんりの部分を占めます。

「日本のお金の歴史」をテーマとする貨幣博物館は、日本銀行金融研究所が運営している日本銀行の職場のひとつです。ここでは、そんな貨幣博物館の「博物館」としての特徴に注目して、みなさんにどんな仕事をしているのかご紹介していきます。



博物館って？

博物館とはどんなところでしょう？展示以外のイメージはありますか？

国の役所（文化庁）のホームページには

博物館は、資料収集・保存、調査研究、展示、教育普及といった活動を一体的に行う施設であり、実物資料を通じて人々の学習活動を支援する施設としても、重要な役割を果たしています。

とあります。なんだかちょっと難しいですね。



貨幣博物館に当てはめてみると？

貨幣博物館に当てはめてみましょう。貨幣博物館では、昔のお金に関する資料、特に「**銭幣館コレクション**」という戦前に集められた昔のお金に関するたくさんの資料（コレクション）を大切に保管しています。

そういった昔の資料を永く後の時代に残すための仕事（=保存）がまずは重要になります。その上で、その資料の歴史的な意味などを調べて考える仕事（=調査研究）を行います。そして調べ、考えたことをもとに「展示」をします。皆さんが博物館に来たときに目にするのはこの「展示」になります。さらに、博物館で持っている多くの情報を、さまざまな形で皆さんに広く発信する活動（=教育普及）も行っています。



貨幣博物館では、歴史的な資料をたくさん持っているので、博物館の活動のうち、専門的な部分については、歴史を学んできた**学芸員**を中心に、博物館のスタッフ全員で日々考え、仕事をしています。次回以降、具体的に貨幣博物館ではどのような仕事をしているか、少しずつ見ていきましょう。



貨幣博物館展示室 博物館の表？そのウラは？

学芸員とは？

博物館で働く専門職であり、国家資格です。それぞれ歴史、美術、文学など得意な分野を持っています。